

# 麦作情報 第3号

J A む な か た  
北筑前普及指導センター

## ●気象概況（アメダス宗像より）

1 2月	平均気温(°C)	平年気温(°C)	降水量(mm)	平年降水量(mm)
上旬	8.2(-0.4)	8.6	0(-25.9)	25.9
中旬	6.0(-1.5)	7.5	0(-20.8)	20.8
下旬	6.5(-0.3)	6.8	49.5(+29.2)	20.3

1 2月は、全般に平年より気温は低く、降水量は平年より少なく経過しました。

適期に播種された圃場では、3～4葉期で分けつは株当たり2～3本と順調に増加しています。大豆後の播種が遅れたほ場では、分けつ開始期です。

本年は播種後の乾燥・低温により、遅播きでは特に生育が遅れています。今後は生育状況に応じた麦踏み・土入れなどの管理作業を行いましょう。

### 1 排水対策

排水溝の溝さらえを十分に行いましょう。

降雨直後に圃場を確認し畝間に滞水しているような圃場では、枕地の溝と排水溝がつながるようにしてほ場内の水が速やかに流れ出るようにしておきましょう。



わらが周囲溝につまり滞水している状態

### 2 麦踏み

★4葉が出る頃から始めます。2月末頃までに、ほ場がよく乾燥した日の午後を選んで、3～4回を目安に行ってください。

### 3 土入れ

★地表面排水のための作溝を兼ねて、土入れを行ってください。

★1回目は浅く、2回目以降は麦の生長に伴って土の量を増やしましょう。

(土入れは、麦踏み前に行い、麦踏み直後には実施しない。)

### 4 雑草対策

一部の圃場で、スズメノテッポウなどのイネ科雑草やノミノフスマ、ヤエムグラ、トゲミノキツネノボタンなどの広葉雑草が発生しています。

次の表を参考に雑草防除を徹底してください。

対象雑草	カラスノエンドウ、ノミノフスマ、ヤエムグラ、タデ類などの広葉雑草	ノミノフスマ、ヤエムグラ、トゲミノキツネノボタン、タデ類などの広葉雑草	スズメノテッポウなどのイネ科雑草及びノミノフスマ、トゲミノキツネノボタン、タデ類などの広葉雑草
薬剤名	アクチノール乳剤	バサグラン液剤	ハーモニー75DF 水和剤
使用量 (10a)	100~200ml	100~200ml	5~10g
使用回数	2回以内	1回	1回
希釈水量	70~100ℓ	70~100ℓ	100ℓ
使用時期	穂ばらみ期まで (雑草生育初期)	大麦：生育期(雑草の3-6葉期) (但し、収穫90日前まで) 小麦：生育期(雑草の3-6葉期) (但し、収穫45日前まで)	大麦：は種後～節間伸長前まで 小麦：は種後～穂ばらみ期まで (但し、収穫45日前まで) (スズメノテッポウは節間伸長前まで)

- ★ カズノコグサ (湿田で発生が多い) 対象にハーモニー75DF 水和剤を使用する場合は、使用量を 10g/10a とし、カズノコグサが 3 葉になるまでに使用して下さい。
- ★ トゲミノキツネノボタンは、1 月下旬～2 月上旬にハーモニー75DF 水和剤を散布して下さい。
- ★ ハーモニー75DF 水和剤は、周辺に野菜や豆類がある場合散布できません。  
※使用後のタンク及び散布器具は、消石灰 500 倍液を 10 分間循環させた後、20 分間放置し、排出後清水で洗浄して下さい。
- ★ カラスノエンドウは必ずアクチノール乳剤を使用して下さい。  
※3 月頃に発生してきますので、遅めの除草剤散布が有効です。

## 5 追肥 (分けつ肥)

品種	播種時期	追肥時期	肥料の種類と施肥量 (10a 当たり)	
			NK 2 号	追肥一発
チクゴイズミ	1 1 月中下旬	1 月下旬	25kg	グッド IB506 … 30kg
	1 2 月上旬	2 月上旬		
	1 2 月中下旬	2 月中旬		
ちくしW2号	1 1 月下旬	1 月下旬	/	グッド IB407 … 30kg
	1 2 月上旬	2 月上旬		
	1 2 月中下旬	2 月中旬		
ほうしゅん	1 1 月下～ 1 2 月上旬	1 月下～ 2 月上旬	20kg	/
	1 2 月中下旬	2 月上～中旬		

★追肥の効果を高めるために、施用後は土入れを行ってください。

★チクゴイズミでは、2 月下旬～3 月上旬頃に穂肥を施用 (追肥一発肥料施用ほ場は除く) しますが、次回の麦作情報第 4 号でお知らせします。